

## 大内正夫先生を悼む

宗 林 由 樹\*

京都教育大学名誉教授大内正夫先生は、平成 25 年 9 月 26 日ご逝去なさいました。享年 99 歳でした。

大内先生は、大正 3 年 5 月 30 日のお生まれで、昭和 25 年 9 月京都帝国大学理学部地球物理学科をご卒業なさいました。速水頌一郎教授（当時）のご指導の下、台湾の大平山の樹齢およそ 500 年の紅桧<sup>ベニヒノキ</sup>の輪切り標本の年輪を精密に解析し、北太平洋亜熱帯における過去 10 世紀の気候変動と太陽活動の関係をご研究なさいました。これにより、京都大学理学博士の学位を得られました。

昭和 26 年 4 月京都学芸大学（京都教育大学の前身）助手にご着任されてから、昭和 45 年 4 月教授ご昇任を経て、昭和 53 年 3 月ご退官まで、長年にわたって、理科教育、環境教育の推進・普及にご尽力なさいました。

社団法人全国日本学士会では、昭和 56 年 5 月評議員、昭和 59 年 5 月理事となられ、本年 7 月 21 日のシンポジウムまでご活躍なさいました。また、日本海洋学会年会にもほとんど欠かさずご出席を続けられ、学会会場の最前列から、大きな声でご質問なさっていらっしゃいました。

これらの業績に対して、京都教育大学教育功労賞、社団法人全国日本学士会アカデミア賞（教育・学術部門）をご受賞なさいました。

本財団において、大内先生は最年長の会員でいらっしゃいました。春秋の講演会、京都化学者クラブへは、ご皆勤くださいました。昨年 12 月 1 日第 270 回京都化学者クラブにて、「脳と心と環境の統合発展—新しい自然観—」と題するご講演をなさいました。その内容は、本誌 26 卷 1 号の月例卓話にご執筆くださいました。本年 9 月 7 日京都化学者クラブでお目にかかったのが最後となりました。その時には、ご入院中の病院から、車いすで、付き添いの看護婦さんと、酸素ボンベを携えてのご出席でした。それでも、講演会では大きな声でご質問になり、会食では楽友会館のランチをお召し上がりになり、やはり大きな声でご意見をお聞かせくださいました。

実は先生は、2 年前に肺がんが見つかり、以後、手術はせずに 1 か月に 1 度くらい肺の水を抜くための通院をなさっていたとのこと。しかし、最後まで私たちにはそのようなご苦勞はお見せにならず、快活に、学問へのご情熱をお示しくくださいました。

先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

---

\*京都大学化学研究所教授、一般財団法人海洋化学研究所代表理事



平成 24 年 12 月 1 日 第 270 回京都化学者クラブでのご講演

**謝辞：**本稿の執筆にあたり，京都大学理学研究科海洋物理学講座秋友和典教授，ならびに社団法人全国日本学士会岡田和男専務理事・事務局長にたいへんお世話になりました．ここに御礼申し上げます．